

防災学習をしました（4年生）

12月15日（木）に、4年生と防災の学習をしました。2つのパワーポイントを使って学習をしました（校長作成）。

一つ目は、阪神淡路大震災について学習をしました。当時の様子を写真を見ながら4年生と一緒に学習しました。そして、加藤はるかさんが主人公の『あの日をわすれない はるかのひまわり』の話を確認しました。その後、本校の『はるかのひまわり 絆プロジェクト』を振り返りました。

二つ目は、阪神淡路大震災から28年が経とうとする中、本当に復興ができたのかどうかを4年生と考えました。その後、災害に備えるとは、どうすることかを一緒に考えました。



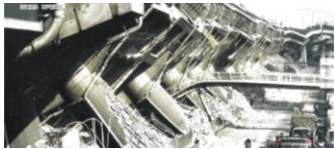
はんしん あわじ だいしんさい
阪神淡路大震災
 1995年1月17日
 午前5時46分

15秒の揺れ

『神戸に地震は来ない』
 と誰もが信じていた

6434人の
 尊い命

たった1秒先が予知できない人間の限界…



4年生のみなさん
 「あの日をわすれない」とは、どういうことでしょうか？

はるかが みつかったのは、
 いちばん さいご…。
 じしんから、7時間が たって
 いました。

あれから、なん年かがたちました。

まちは どんどん あたらしく
 うまれかわって いきます。
 ひとの ころろは…？

震災モニュメント交流ウォーク

いのちの たいせつさを
 かんがえながら あるくん
 や！

「いつか。震災のかたりべとして
 はなしてみないか？」

じしんのこと、いのちのこと、
 そして、はるかのこと…

生きている わたしが、
 いま できること。

1月17日…ことしも
 あの日が やってきます。



「はるかのひまわり」を育てることを通して、
 「地震から身を守ること」や「命の大切さ」をいつも意識して生活できるようにと考えました。
 一人一人の命がとても尊いものだから。

「命の一本桜プロジェクト」



命はとても大切な
 ものです

阪神淡路大震災から28年



復興できた？

震災当時と今



復興できた？

- ・建物や街並みは？
- ・人々の心は？

災害への備えを！

- 「自助」…自分自身や家族で備える
- 「共助」…地域の役割
- 「公助」…行政の役割

阪神淡路大震災で生き埋めや閉じ込められた状態から誰に助けをもらったか

- 【自助】自力で・家族に…約67%
- 【共助】友人・隣人に…約30%
- 【公助】救急や自衛隊等に…約2%

自分にできる備えとは？

- ①災害に関する正しい知識の習得
- ②マイ・タイムラインの作成
- ③7日分の食料等の備蓄
- ④防災訓練、防災講座への参加
- ⑤地域内の支え合い推進

突然ですが、校長先生が続けていることを紹介します



防災士さんによる防災教室より



防災で一番大切なことは、ふだんの生活から「いじめばいい」「あいさつをする」ことが大事です。日頃から、地域の人としっかりあいさつをしましょう。

避難するときは、「おはしもち」を守りましょう。

【自助】「災害に備える」とは？

- すぐに準備ができるもの
- 準備に時間がかかるもの (相手があるもの)

あなたは、どう災害に備えますか？

《防災士さんの話です》

阪神淡路大震災で被災された防災士さんの話です。

日頃から、「いざ」という時に備えることが大事です。物も心もつながりもです。

地震が起こり、建物が崩れた時に、自分の存在を近所の人を知ってくれていたら、助けてもらうことができます。

ふだんから地域との交流をしっかり行い、お互いに大切に思う気持ちを築いていくことが、結果的に災害に備えることにつながっていきます。

「この家は、〇人家族だ。△△さんの姿が見えない。この中だ！早く助け出さないと！おーい、みんな来てくれ〜！」

では、自分の存在を知ってもらい、地域の人とつながりをもつためにはどうすればよいでしょうか。

それは、あいさつです。他にもいろいろありますが、**ふだんから積極的にあいさつを心がけ、つながりを深めていきましょう。**



【4年生の学習のふり返りより (一部抜粋)】

- 地震はいつ来るかわからないので、こわいなーと思いました。
- ほくは、備えとしてたくさんの人と交流をして、みんなを助けるようにしたり、助けてもらうようにしたりしたいです。
- 一応、家では水を備えているけれども食料はないので備えようと思いました。
- 突然、地震が来るかもしれないので、今から食料や水を用意し、避難場所をちゃんと決めておきたいと思いました。
- 災害への対策は、毎日あいさつをしたり、毎日地震などの災害に警戒したりすることです。
- ふだんからあいさつをすることが、自分にできる備えだとわかりました。
- 災害が起きた時の自分の動きを日頃から考えたいです。
- 7日分の食料や水などが必要なことがわかったので、家にあるか確認しようと思いました。
- 『自助』で多くの人が助かっているのだから、自分からあいさつをし、さらに交流を深めるようにしたいです。一週間分の食料や水を備え、自分や家族を守ります。

あいさつは、災害時に備える大切な行為です！